

帯広－JICA 協力隊連携事業第 2 フェーズ短期派遣要請概要等

1. 国名：パラグアイ共和国

2. 職種・人数：家畜飼育 4名

3. 募集：家畜飼育 4名

4. 配属先概要

1) 受入省庁：企画庁

2) 配属先：イタプア県生産開発局

3) 任地：イタプア県南部にある 3 市（調査中）

4) イタプア県概要：

イタプア県は国内第 3 の都市エンカルナシオン市を県庁所在地とする。小麦、大豆などの穀物、さらには畜肉製品や牛乳加工品の生産地として知られている。30 市町村から構成され、県庁は農業分野を担う生産開発局をはじめ、公共事業部、教育文化部、環境部他から成り立つ。同県内には世界各国からの移住が多いが、特にドイツ系と日系の移住が多く、これまで様々なセクターで JICA の技術協力が実施されている。

5. 要請概要

1) 要請理由

平成 24 年度から、JICA と帯広畜産大学は共同で「イタプア県小規模酪農家強化計画（FOPROLEI）」を実施している。この事業は、2 職種 4 名の長期ボランティアを県庁、コロネル・ボガード市、ヘネラル・アルティーガ市、サンペドロ・デ・パラナ市に各 1 名ずつ派遣し、家畜飼養管理技術、健康・衛生管理技術等の向上を目的としてプロジェクトを進めている。本年 3 月に行われた中間評価報告会において、これまでの成果について報告があり、各市において一定の成果が出たことについて報告があった。

また、同国の方針として酪農分野の発展、特に安定的で質の高い牛乳生産に取り組んでいることから、イタプア県から第 2 フェーズの要請がなされた。

この要請に基づき、青年海外協力隊事務局、JICA パラグアイ事務所、帯広畜産大学間で協議を行い、同県にて第 2 フェーズを行うこととした。

なお、同県内各市の酪農に関する課題は類似していることから、各市の酪農

状況、安全状況等を調査し決定することとした。

2) 予定されている活動内容

本プロジェクトでは、搾乳衛生、飼料給与改善、繁殖管理改善を通して、牛乳の生産性を向上させて酪農家の経営改善を図ることを目的としています。今回の派遣では、初めての調査になるため、現地酪農家を訪問して、以下の基本的な酪農情勢の調査を行い、現地の酪農産業発展のための課題抽出を行います。

1. 酪農家の経営規模（家族構成、飼料作物面積、飼養頭数など）
2. 搾乳衛生状況
3. 飼料給与状況（飼料の種類、給与量など）

3) 配属先スタッフ・同僚等

各市ともにカウンターパートとして1名配置予定
小規模酪農家組合員（複数名）

4) 業務使用言語：スペイン語（訓練言語）・グアラニー語

5) 選考指定言語：英語

※学内選考時は、TOEIC等のスコアは不所持でも問題ありませんが、JICA選考時に必要になりますので、JICAボランティア応募時まで各自受験しておくこと。<https://www.jica.go.jp/volunteer/application/seinen/language/>

6. 利用する機材等：車両、通訳

7. 地域概況

- 1) 気候：温暖湿潤気候
- 2) 気温：0～40℃
- 3) 電気：安定
- 4) 電話：通話・インターネット可
- 5) 水道：安定

8. 応募条件

- 1) 帯広畜産大学所属（派遣時に学部3年生以上）

9. その他

JICA 合否決定後、大学が定期的に行うスペイン語研修や搾乳実習などに参加すること。

以上